

## 令和4年3月末現在における安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

- 1 本資料は、安全運転管理者選任事業所、又は運転代行業（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が千葉県内において業務中又は通勤中に起こした人身事故を分析したものです。物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。
- 2 本資料には、他県の安管事業所の従業員が千葉県内で起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

### 1 安全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

	3月中				累 計				
	令和4年	令和3年	増減数	増減率	令和4年	令和3年	増減数	増減率	
発 生 件 数	84	92	-8	-8.7	261	286	-25	-8.7	
昼	日の出1時間後	7	3	4	133.3	22	24	-2	-8.3
	そ の 他 昼	45	58	-13	-22.4	126	153	-27	-17.6
	日の入1時間前	3	3	0	0.0	14	16	-2	-12.5
	昼 計	55	64	-9	-14.1	162	193	-31	-16.1
夜	日の入1時間後	14	10	4	40.0	38	28	10	35.7
	そ の 他 夜	14	15	-1	-6.7	55	50	5	10.0
	日の出1時間前	1	3	-2	-66.7	6	15	-9	-60.0
	夜 計	29	28	1	3.6	99	93	6	6.5
死 者 数	0	1	-1	-100.0	3	4	-1	-25.0	
負 傷 者 数	104	113	-9	-8.0	312	334	-22	-6.6	
重傷者数	4	11	-7	-63.6	26	40	-14	-35.0	
軽傷者数	100	102	-2	-2.0	286	294	-8	-2.7	

令和4年3月末現在の安管選任事業所従業員に係る交通事故は、令和3年同期に比べ発生件数、死傷者数ともに減少しました。時間帯別では事故発生件数が多い昼間の発生が減少する一方で、日の入り1時間後から夜間の事故が増加しています。

### 2 安全運転管理者等選任事業所の交通死亡事故の概要（千葉県内）

番号	発生日時	場 所	路 線 名	第 1 当 事 者	第 2 当 事 者	通行目的
1	2月4日（金） 8:52	成田市野毛平	市道	人材派遣業30歳代（女）	50歳代（男）	通勤
	普乗【死亡】			準中貨		
2	2月9日（水） 7:30	柏市ひばりが丘	市道	サービス業50歳代（男）	30歳代（男）	通勤
	普乗			歩行者【死亡】		
3	2月18日（水） 4:59	千葉市花見川区 検見川町	市道	公務員20歳代（男）	50歳代（男）	通勤
	普乗			原付【死亡】		

2月中に死亡事故が3件連続して発生しました。3件の死亡事故の共通点は、

- (1) 発生時間は3件とも午前5時から午前9時までの間
- (2) 通行目的は3件とも通勤

でした。本資料の「7 時間帯別発生状況」でも触れておりますが、交通事故が最も多く発生しているのは午前6時から午前8時の出勤時間帯です。

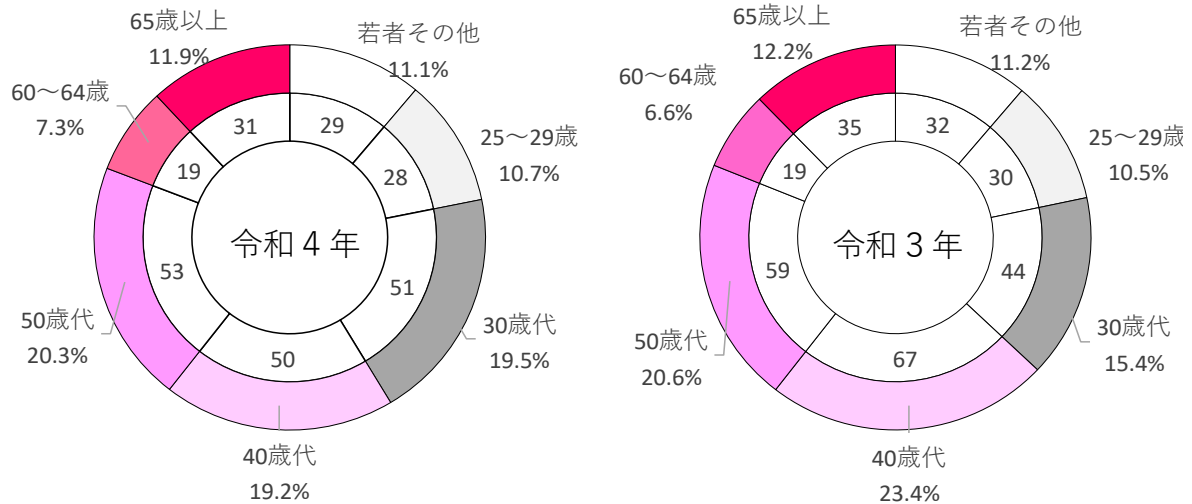
車で出勤する場合は早めに出発して、ゆとりある運転に心がけてください。

### 3 第1当事者の運行目的別発生状況



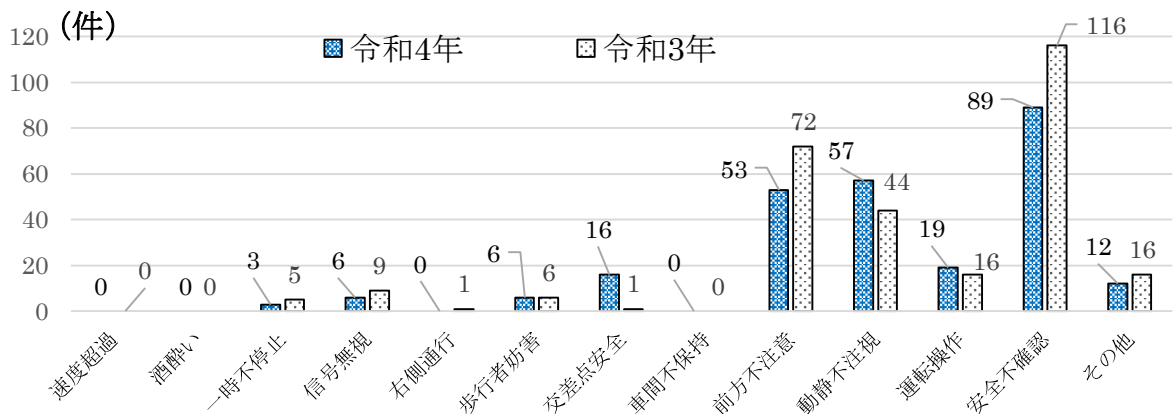
業務中の事故は117人(44.8%、前年比±0人)で昨年と同数でした。通勤途中は144人(55.2%、同一25人)と減少しています。運行目的別では業務より通勤中の事故が多くなっていますが、マイカー通勤中の交通事故であっても、民法上の「使用者責任」により、雇用主等が賠償責任を負うことがあります。通勤中の安全運転管理にも取り組んでください。

### 4 第1当事者の年齢層別発生状況



第1当事者の年齢層の比率は前年とほぼ同じです。40歳代及び50歳代の比率が高く、これに60歳以上を含めると、全体の58.6%を占めています。

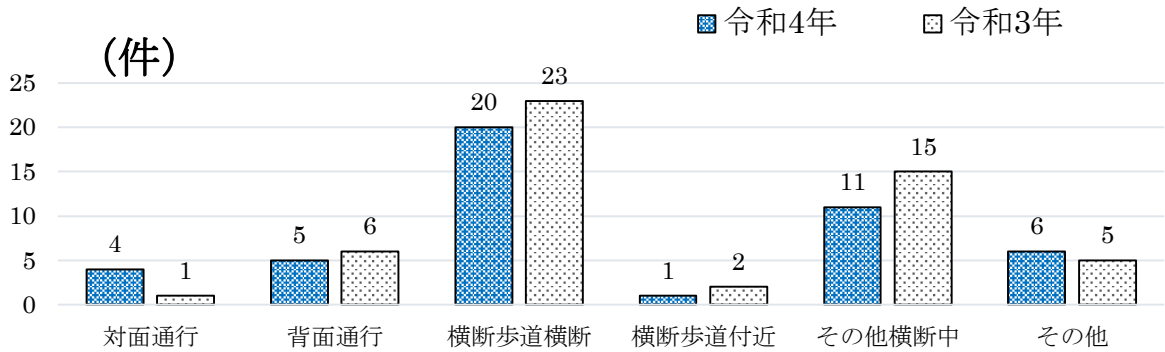
### 5 第1当事者の違反・原因別発生状況



事故原因は、前方不注意、動静不注意、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計218件で事故原因の83.5%を占めています。①交差点や横断歩道付近では確実に前方左右の安全確認を行う。②運転中は運転に集中して考え事や脇見をしない。という安全運転の基本を徹底してください。また、速度超過を直接の原因とする事故は発生していませんが、衝突時の速度が高ければ当然、重大事故につながりやすくなりますので、速度の管理にも取り組んでください。

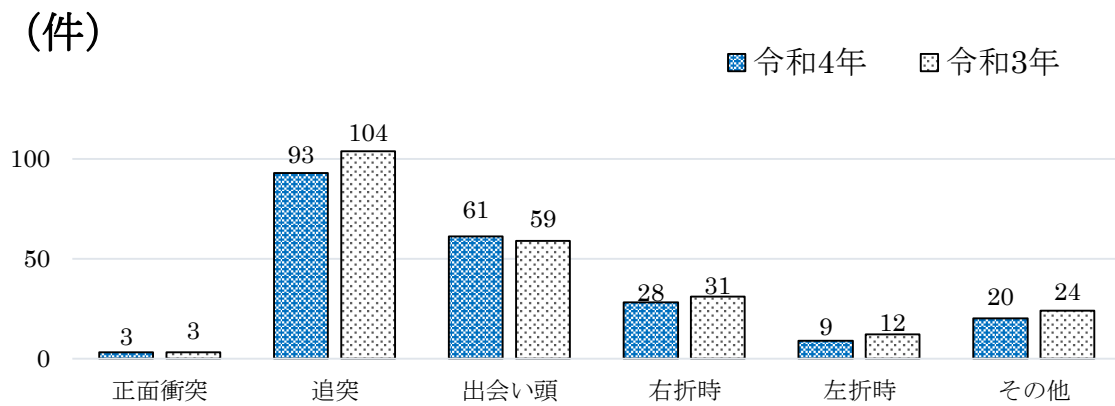
## 6 事故類型別発生状況

### (1) 人対車両 (計 32 件)



横断歩道横断中の歩行者は最も保護されるべき交通パートナーですが、人対車両事故では横断歩道横断中の事故が 20 件（前年比－3 件）と最も多くなっています。右折または左折して横断歩道を通過する際には歩行者を見落としやすいので注意してください。

### (2) 車両相互 (計 214 件)

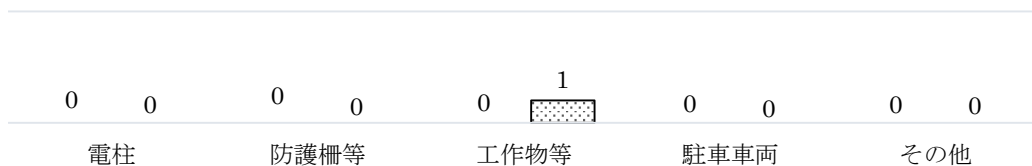


最も多い事故形態は追突（93 件、全事故の 35.6%、前年比－11 件）でした。次に多いのが出会い頭（61 件、23.4%、前年比＋2 件）でした。出会い頭事故は重傷事故に発展しやすいので、交差点通過時は状況に応じて徐行・停止すると共に、確実な安全確認をお願いします。

### (3) 車両単独 (0 件)

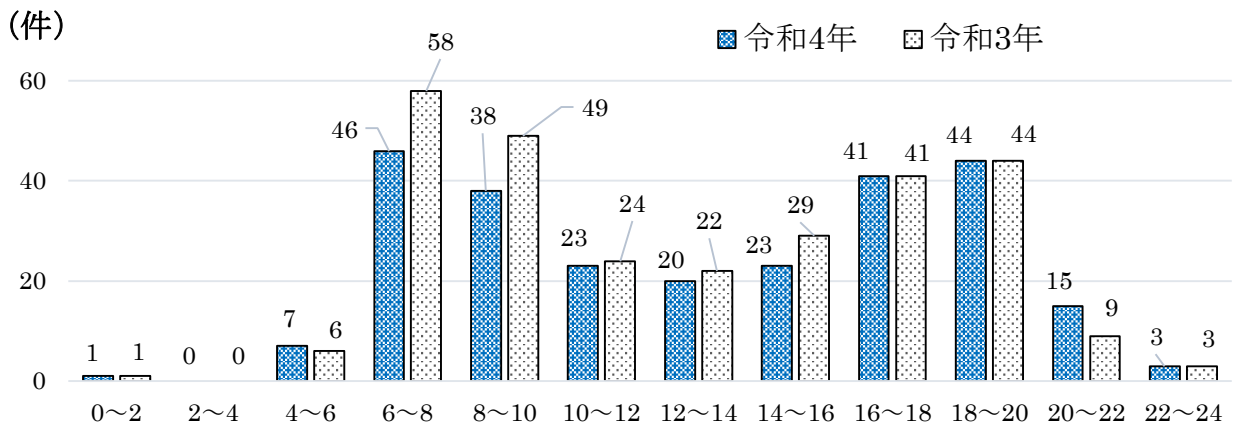
(件)

Legend: ■ 令和4年 (Heisei 4), □ 令和3年 (Heisei 3)



令和4年3月末現在、単独人身事故の発生はありません。

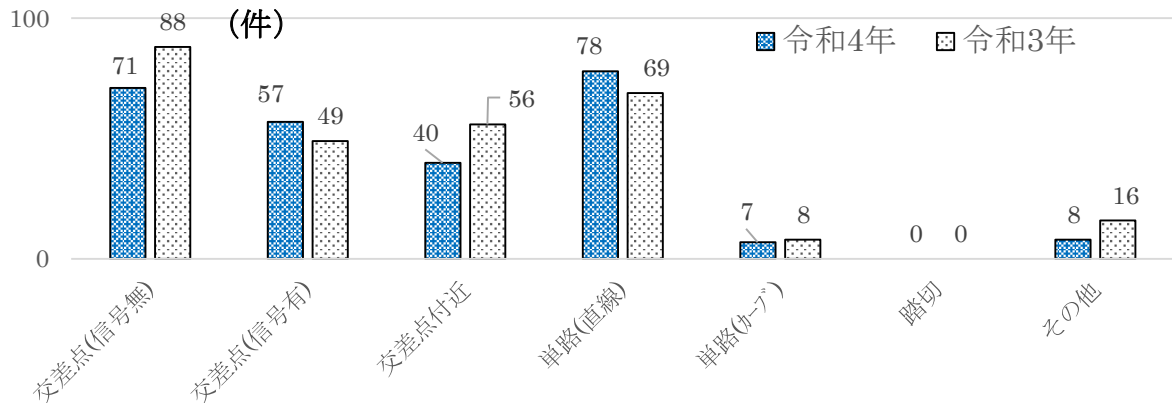
## 7 時間帯別発生状況



時間帯別で最も多かったのは、6時から8時までの46件（17.6%、前年比-12件）でした。また、6時から10時までの時間帯に84件32.2%、16時から20時までの時間帯に85件、32.6%の事故が発生しており、通勤時間帯の事故が多くなっています。

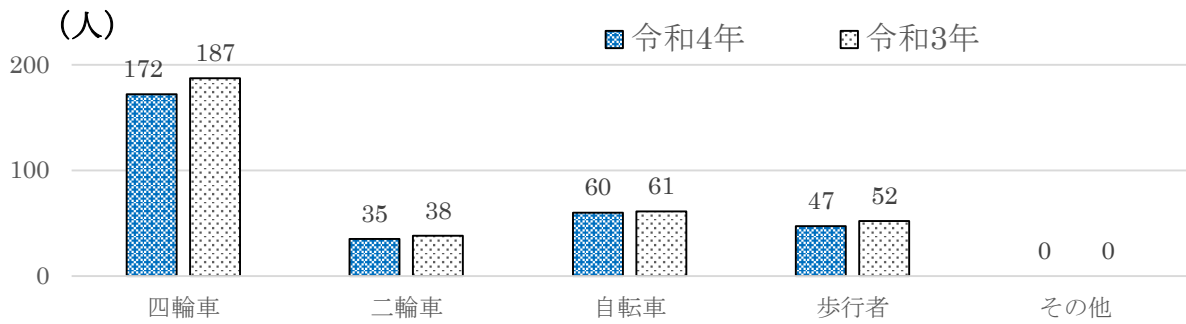
従業員の運転適性の把握に基づく交通安全指導が通勤時の事故防止につながりますので、積極的な取り組みをお願いします。

## 8 道路形状別発生状況



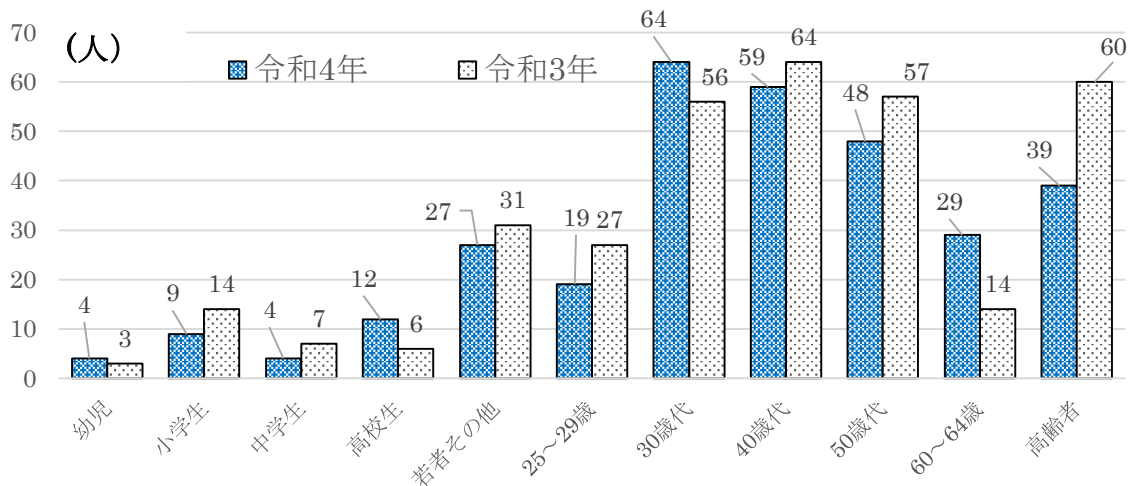
道路形状別では、交差点及び交差点付近の事故が合わせて168件（64.4%、前年比-25件）で、事故の6割以上が交差点及び交差点付近で発生しています。単路（直線）の事故が78件（29.9%、同+9件）と高い比率を占めているのは、事故類型で最も多い追突事故（35.6%）の多くが単路（直線）で発生しているためと考えられます。

## 9 死傷者の状態別発生状況



死傷者の状態別では、四輪車乗車中が最も多く172人（54.8%、前年比-15人）、次いで自転車の60人（19.1%、同-1人）でした。歩行者は47人（15.0%、前年比-5人）でした。対自転車と対歩行者の事故は重大事故につながりやすいので、横断歩道や交差点等を通過する際は安全確認を確実に行ってください。

## 10 死傷者の年齢層別発生状況



死傷者が最も多いのは30歳代の64人（20.4%、前年比+9人）であり、次に40歳代の59人（18.8%、同-5人）、50歳代の48人（15.3%、同-9人）、高齢者の39人（12.4%、前年比-21人）となっています。